



# 歩行空間ネットワークデータ等の整備推進 に向けた実証事業

---

令和3年4月

政策統括官付



- 歩行空間ネットワークデータ等の整備・更新に関する実証事業として、R2年度は、香川県高松市および福井工業専門高等学校(福井県鯖江市) 2団体にて実証。
- データの活用分野としてまちづくり、防災分野で検討が行われ、歩行者移動支援サービスの導入に向けて他地域が参考となる新たな知見・ノウハウが得られ、「効率的な歩行空間ネットワークデータ等の整備に関する手引き」に反映。

	高松市	福井工業専門高等学校（福井県鯖江市）
実施概要・特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>• JR高松駅周辺（サンポート地区）と、市街地中心部のバリアフリー重点整備地区から栗林公園にかけての歩行空間ネットワークデータと中心部の施設データを整備。</li> <li>• 整備したデータを高松市の公開型GIS（たかまっぷ）で可視化し、住民等にバリアフリー情報を公開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 災害時の避難誘導への活用を目的に、学校周辺から駅にかけての地域で、歩行空間ネットワークデータを整備。</li> <li>• 浸水想定区域や土砂災害警戒区域を考慮した上で、<u>災害種別に応じた最適な避難ルート選定への活用</u></li> </ul>
成果概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 歩行空間ネットワークデータを整備し、<u>都市再開発における移動環境を定量的に評価するための基礎資料として活用</u>。R3年度の市内委員会で活用予定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 歩行空間ネットワークデータに災害時の避難誘導に必要なデータを整備するとともに、<u>実際のデータを利用し、災害種別に応じた最適な避難経路を検索し、可視化</u></li> </ul>
現地事業より得られた知見・ノウハウ（主な手引書への反映項目）	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 第2層データへの追加（バス停の有無、案内所の有無、出入口の幅員・種類・バリアフリー化の有無 等）</li> <li>• <u>市民へのバリアフリー情報の提供方法</u>（既存の公開型GISによるバリアフリーマップの公開）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 災害時の避難誘導に必要な第2層データの追加（蓋の無い側溝、水路の有無）</li> <li>• 歩行空間ネットワークデータを利用した<u>災害種別に応じた最適な避難経路案内への活用方法・事例</u></li> <li>• <u>データ活用アイデア</u>（歩行空間ネットワークデータの活用を考えるアイデアソンの実施方法）</li> </ul>